※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1004 |
|---|---|

# 令和５年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 化学基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「改訂　新編化学基礎」　（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | ニューサポート　改訂　新編　化学基礎　（東京書籍） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「物質やエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり，その中に問題を見いだし意欲的に探究する活動を通して，規則性を発見したり課題を解決したりする」小・中学校での理科の学習を終えて、化学と人間生活について「物質の構成」、「物質の変化」という２つの視点を見ると、どのようなことがわかるのか。どのように生き、行動すれば人間と自然の持続可能な共存を目指すことができるのか。この２つの問題を念頭に置いて学び、考え続けてください。

## ２　学習の到達目標

(1)身の回りの物質と日常生活や社会との関連について、原子・分子・イオンなどの物質の性質に関する知識、化学結合・化学変化などの基本的な原則を理解する。
(2)日常生活や社会の中で起こっている事象を科学的に考察し、自ら考えを導き出して表現することができる。
(3)原子・分子・イオンなどの物質の性質や化学結合・化学変化などの基本原則を、日常生活や社会の中で起こっている事象と結びつけ応用させることができる。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 | 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 | 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、化学と人間生活との関わりを常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 化学と人間生活 | 文明は金属とともに<br>プラスチックと繊維<br>食料の保存<br>洗剤<br>化学と人間生活に関する探究活動 | a:物質や化学現象と人間生活との関連について基本的知識を理解している。<br>b:化学現象と人間生活との関わりを科学的に考察できる。<br>c:物質や化学現象と人間生活との関連付けを自ら行うことができる。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業ノート<br>ワーク<br>観察 |
| 1学期<br>2学期 | 物質の構成 | 物質の成分<br>物質の構成元素<br>物質の三態<br>電子の構造<br>電子配置と周期表<br>化学結合<br>化学結合と物質の分類<br>物質の構成に関する探究活動 | a:物質の構成や変化、電子の性質、化学結合について基本的知識を理解している。<br>b:物質の構成や変化、電子の性質、化学結合の仕組みを科学的に考察できる。<br>c:物質の構成や変化、電子の性質、化学結合の仕組みを、日常生活での事象と結びつけることができる。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業ノート<br>ワーク<br>観察 |
| 1学期<br>2学期<br>3学期 | 物質の変化 | 物質量<br>溶液の濃度<br>化学反応式とその量的関係<br>酸と塩基<br>中和反応と塩<br>酸化と還元<br>金属の酸化還元反応<br>酸化還元反応の応用<br>物質の変化に関する探究活動 | a:溶液の性質、酸・塩基、酸化還元反応について基本的知識を理解している。<br>b:溶液の性質、酸・塩基、酸化還元反応について科学的に考察できる。<br>c:溶液の性質、酸・塩基、酸化還元反応の仕組みを日常生活の事象と結びつけることができる。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業ノート<br>ワーク<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度